令和7年度　学校評価報告書

相生市立矢野小学校

1　教育目標

豊かな心と自ら学ぶ力を育み、心身ともに健康な子どもを育成する

2　学校経営基本方針

自らつくり出す実感のあるくらしと学習
（1）やさしく思いやりのある人間関係力を育てる
（2）基本的生活習慣を基礎にした活動
（3）自ら考え、工夫し表現する力を育てる

3　重点努力目標

（1）共に生きる心を育てる人権教育を推進する
（2）体力を増進するとともに、たくましい心を育成する
（3）基礎基本を定着させ、思考力、判断力、表現力を育成する
（4）地域に開かれた信頼される学校、特色ある学校づくりを推進する

4　自己評価

領域	項目		質問内容	アンケート結果（肯定的割合％）		
				児童	保護者	教職員
確かな学力	学習指導	①	児　わたしは、じゅぎょうがわかりやすいとおもう。 保　お子さんは、授業が分かりやすいと言っている。 教　自分はわかりやすい授業を工夫している。	88	78	9 91
		②	児　わたしには、しょうらいのゆめがある。 保　お子さんと、将来についての話をよくしている。 教　自分は、将来について指導している	85	81	27 73
	言語活動の充実	③	児　じぶんのおもいやかんがえをはっぴょうできるようどりょくしている。 保　お子さんは、すすんで自分の思いや考えを伝えている. 教　自分は、授業で思いや考えを伝え合うように仕向けている。	82	91	27 73
豊かな心	生活習慣 規範意識	④	児　わたしは、ルールやマナーをしっかりまもっている。 保　お子さんは、ルールやマナーが身についている。 教　自分は、ルールやマナーを身につけさせるよう工夫している。	88	94	55 45
		⑤	児　わたしは、よくあいさつをしている。 保　お子さんは、よくあいさつをしている。 教　自分は、あいさつの大切さを説き、自らもあいさつしている。	97	91	55 45
		⑥	児　わたしは、いじめをゆるさないこうどうができている。 保　お子さんは、いじめを許さない行動ができている。 教　自分は、個性を尊重し、いじめを生まない指導をしている。	94	94	50 50
	人権教育 道徳教育	⑦	児　わたしは、人にやさしくすることができている。 保　お子さんは、人にやさしくすることができている。 教　自分は、生命や人権を尊重する心が育つよう工夫している。	100	100	27 73
	ふるさと意識	⑧	児　わたしは、すんでいるまちのことがすきである。 保　お子さんは、地域のことを知ろうとしている。 教　自分は、地域のよさを伝える指導をしている。	94	75	36 64
健やかな体	保健・衛生	⑨	児　わたしは、びょうきやけがをしないようにせいかつしている。 保　お子さんは、病気やけがをしないように生活できている。 教　環境衛生の管理に努め、健康に関する教育を行っている。	97	84	18 82
	体力向上	⑩	児　たいいくのじゅぎょうやサーキットなどにねっしんにとりくんでいる。 保　お子さんは、よく体を動かしている。 教　児童が意欲的に体を動かし、体力が向上するように取り組んでいる。	97	75	36 55
	食育	⑪	児　わたしは、すききらいなくしょくじをしている。 保　私は、食育に関心がある。 教　自分は、食に関する教育を行っている。	76	88	27 64

学びを支える体制	教職員の資質向上	⑫	自らの資質の向上を意識して努力している。			36 64
	教職員の働き方改革	⑬	業務の効率を高める工夫をしている。			36 64
	連続性ある学校園づくり	⑭	保　私は、学校だより等により教育活動の様子をよく知っている。 教　自分は、児童の学習成果や学校の取組み等を保護者や地域へ発信している。		91	27 55
		⑮	保　地域の保育所・幼稚園、小・中学校が協力して教育活動を行っていると思う。 教　学習活動や不登校など生徒指導において、地域の幼稚園・小中学校と連携した教育をしている。		84	9 73
	学校安全防災教育	⑯	児　わたしは、きけんからみをまもってすごしている。 保　お子さんは、危険から身を守って生活している。 教　自分は、児童の安全に気を配り、危険回避の指導をしている。	91	91	46 54
	生活指導専門機関等連携	⑰	児　わたしは、こまったとき、なんでもはなせる人がいる。 教　児童の悩みや相談に親身に対応し、必要時には専門家等と連携を取っている。	91		55 45
教育環境	学校の雰囲気	⑱	児　わたしは、まいにち学校へいくのがたのしい。 保　学校は、全体的に活気があり、明るく楽しい雰囲気である。 教　学校は、全体的に活気があり、明るく楽しい雰囲気である。	82	94	36 64
	環境整備	⑲	保　学校は、教育環境が整備されている。 教　学校は、教育環境が整備されている。		91	18 82

★児童と保護者はA（あてはまる）とB(おおむねあてはまる）の合計
　教職員は上段がA（あてはまる）下段がB(おおむねあてはまる）

5　自己評価のまとめ（成果・課題・対策等）

　今年度、地域を核とした学習活動に焦点を当て、各学年の取組を進めてきた。地域の方から話を聞いたり、地域へ出かけたりすることで、多様な学習を行い、学びが深まる様子を見ることができ、ふるさと意識の醸成にも成果が出ている。児童の主体性を育み、感動体験のある学習となるよう創意工夫をしてきた。しかし、保護者には地域学習、体力向上の取組、食育についての取組の様子が伝わっていないと感じられる。日々の学習や行事、体験活動について保護者にも情報発信をし、一緒に参加できる機会もつくっていく必要がある。
　今後はいじめ防止の取り組みを児童会中心に考えたり、たて割り班活動を充実させたりすることで子どもたちのつながりを深め、安心して過ごせる学校にしていく。また、学校行事や学級活動を自分たちでつくり上げる経験や、学習や体験活動で身に付けたことを地域や家庭に発信することで、自尊感情や自己有用感を高めることにつなげていきたい。